

## 国立大学法人兵庫教育大学における研究インテグリティの確保に関する基本方針

令和6年11月13日  
役員会決定

(趣旨)

科学技術・イノベーション創出の振興のためには、オープンサイエンスを大原則とし、多様なパートナーとの国際共同研究を推進していく必要がある。同時に、近年、研究活動の基盤となる価値が損なわれる懸念や研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性が指摘されており、国際的に信頼性のある研究環境を構築することが、研究環境の基盤となる価値を守りつつ、必要な国際協力及び国際交流を進めていくために不可欠となっている。

このことを踏まえ、兵庫教育大学における研究の健全性・公正性（研究インテグリティ）を自立的に確保することで、信頼性のある研究環境を構築するために、以下の基本方針を定める。

- 1 研究者は、自らの研究活動の透明性を確保し、説明責任を果たしていくため、本学及び研究資金配分機関等に対して必要な情報の適切な報告・申告（当該情報が更新された場合における報告・申告を含む。）を行う。
- 2 本学は、所属する研究者の研究インテグリティを確保するための体制を構築し、必要な情報の申告を受けるとともに、適切なマネジメントを行う。
- 3 研究資金配分機関等から研究インテグリティの確保に係る要請等が行われた際は、研究者と関係する職員が協力し、関係法令及び学内諸規定等を遵守し、適切に対応する。